

バリ極小化に挑戦する「バリレスシリーズ」が 2024年「“超”モノづくり部品大賞」で『モノづくり日本会議 共同議長賞』を受賞

“超”モノづくり部品大賞は、日本のモノづくりの競争力向上を支援するため、応募企業が開発、製品化した部品・部材の中から、産業・社会の発展に貢献する「縁の下の力持ち」的存在の部品・部材を、モノづくり日本会議と日刊工業新聞社が選出し、表彰する制度です。

今回、当社の「バリレスシリーズ」が、モノづくり日本会議と日刊工業新聞社が主催する2024年「“超”モノづくり部品大賞」で、『モノづくり日本会議 共同議長賞』を受賞いたしました。

一般的に、モノづくりの現場における切削加工においては、切削した部品のエッジに「バリ」と呼ばれる突起や残留物が発生します。バリは製品の品質と精度に悪影響を及ぼすことから、多くのユーザーでは、時間と費用を掛けてバリを除去しています。

このような困りごとを解決するため、当社は、これまでに培ってきた技術を結集し、「切削加工でバリが出るのは当たり前」、「加工後のバリ取りは当然」といったこれまでの常識を覆す「バリレスシリーズ」を商品化しました。

バリレスシリーズには、ドリル、タップ、エンドミルの3種類をラインナップ。それぞれがバリの発生を抑制する特徴的な工具形状を有し、バリの極小化を実現します。自動車部品や産業機械などの幅広い分野で、バリ取り作業やバリ検査工程を削減し、生産性向上に貢献したことが評価され、今回の受賞に至りました。

また、2024年10月には、昨今需要が高まっている非鉄金属の切削など、被削材を拡大したバリレスシリーズを新たに発表しました。当社は、今後も技術革新により、切削加工に新たな価値を提供していきます。

- バリ取り工程を不要にする「バリレスシリーズ」を新発売
(2023年10月18日リリース)

<https://www.nachi-fujikoshi.co.jp/news/pre/231018.html>

- バリ極小化に挑戦する「バリレスシリーズ」に非鉄金属用
ラインナップを拡充
(2024年10月21日リリース)

<https://www.nachi-fujikoshi.co.jp/news/pre/pdf/20241018.pdf>

- 「バリレスシリーズ」製品カタログ

<https://www.nachi-fujikoshi.co.jp/web/pdf/2254-3.pdf>



以上